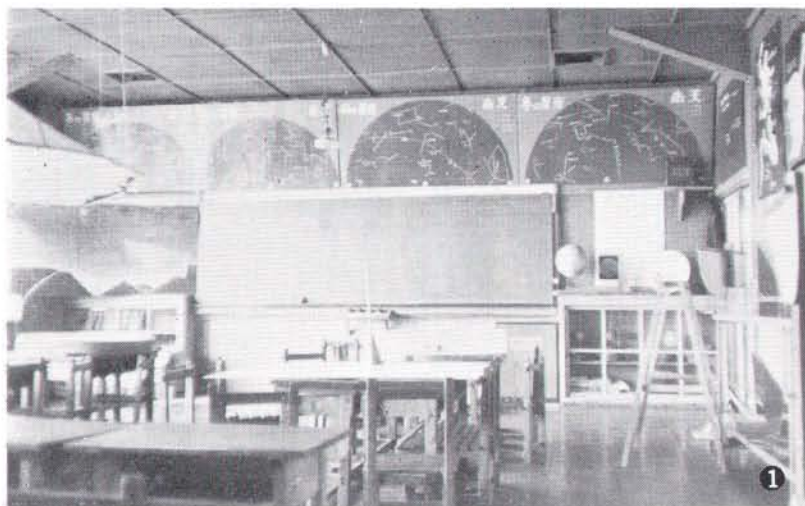


### 東京天文台の公開

昨 1966 年 10 月 29 日に東京天文台の一般公開があり、施設の公開、天体に関する映画、資料の陳列があり、夜は天体観望を行い、多数の来観者があった。1 は単光太陽写真儀を見る人々、2 は資料として展示された内の浦で打上予定のミュー科学衛星の実物大模型、表面にはりつけた多数の長方形の小さな板は太陽電池、3 は目下岡山に建設中のクーデ型太陽望遠鏡（本誌 58 巻 10 月号参照）の模型。

### 妙高南小の天文教具

新潟県妙高南小学校は県の天文教育の指定校として、教授法の研究や教具に独特な工夫をこらして成果をあげている（本誌第 19 頁参照）天文教育に熱心な学校は、たいていアマチュア天文家であった人が中心になっている例が多いが、ここは指定に際して教師諸君がすべて第 1 歩から出発しているので、その気になって



やれば出来るという点で、参観した編集子は心強く感じた。1は天文教室で、正面は四季の星座板、左上に大きな傘型の太陽運行軌跡ドームのはじが見え、その他大型星座早見盤、高度測定器、方位盤をそなえる。2は校庭にある太陽の動きを観測するノーモン、向うに日時計も見える。3は、屋内で、2の日影と同じ実験を豆ランプを針金の軌道の上をすべらせて行なうもの。4は北極星観測筒（手前）と、方位高度測定器。

